

藤沢みんなのレポート
通称「みなレポ」 説明資料

藤沢 みなレポ

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科

後期博士課程 坂村美奈

特任講師 米澤拓郎

徳田・中澤研究室 SFCity グループ

ご説明内容

- 開発経緯について
- 藤沢みなレポについて
 - 行政視点：行政の効率化・円滑化
 - 大学視点：都市情報の収集・蓄積を通じた分析手法の研究開発
- デモンストレーション
- 現在までの収集・共有の例

背景

- 藤沢市と慶應義塾大学SFCが締結した連携等協力協定に基づき、2009年よりこれまで様々な連携を行ってきた
- 弊研究室が藤沢市と近年行ってきた産官学連携プロジェクト
 - 国立研究開発法人情報通信研究機構 委託研究 日欧共同研究ClouTプロジェクト (2013-2015)
 - 総務省委託研究 G空間シティプロジェクト (2014)
 - 文科省事業「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」 (2014-2017)
 - 国立研究開発法人 情報通信研究機構 委託研究 「オープン・スマートシティを実現するソーシャル・ビッグデータ利活用・還流基盤」 (2014-2017)
 - 国立研究開発法人情報通信研究機構 委託研究 **日欧共同研究 BigClouTプロジェクト** (2016-2018)

慶應義塾大学SFC

最先端技術の研究開発を通じて
人類・社会貢献を目指す



最先端技術

藤沢市

市に内在・潜在する諸問題を
分析・解決し、より良い市政を目指す



リアルな社会問題・行政課題

連携等協力協定

産官学研究プロジェクト
(今回: NICT BigClouTプロジェクト)

都市知識・状況の抽出・活用

エッジ・クラウド処理



都市データ

情報技術で都市の状況把握や
地域特性の検出を行いたい
が、コンピュータを学習させる
ための実データが足りない・・・



大学の研究者

日常行政業務で収集・共有すべき情報、気付き



動物(ペット)
の事故



道路の
問題



集積所管理



落書き



不法投棄

などなど..

未だデータ化・共有が
できていない・難しい..
人手での作業はコストが高い..



市職員

情報技術で都市の状況把握や
地域特性の検出を行いたいが、
コンピュータを学習させる
ための実データが足りない・・・

未だデータ化・共有が
できていない・難しい..
人手での作業はコストが高い..



大学の研究者

など、密な情報交換や
議論を重ねる



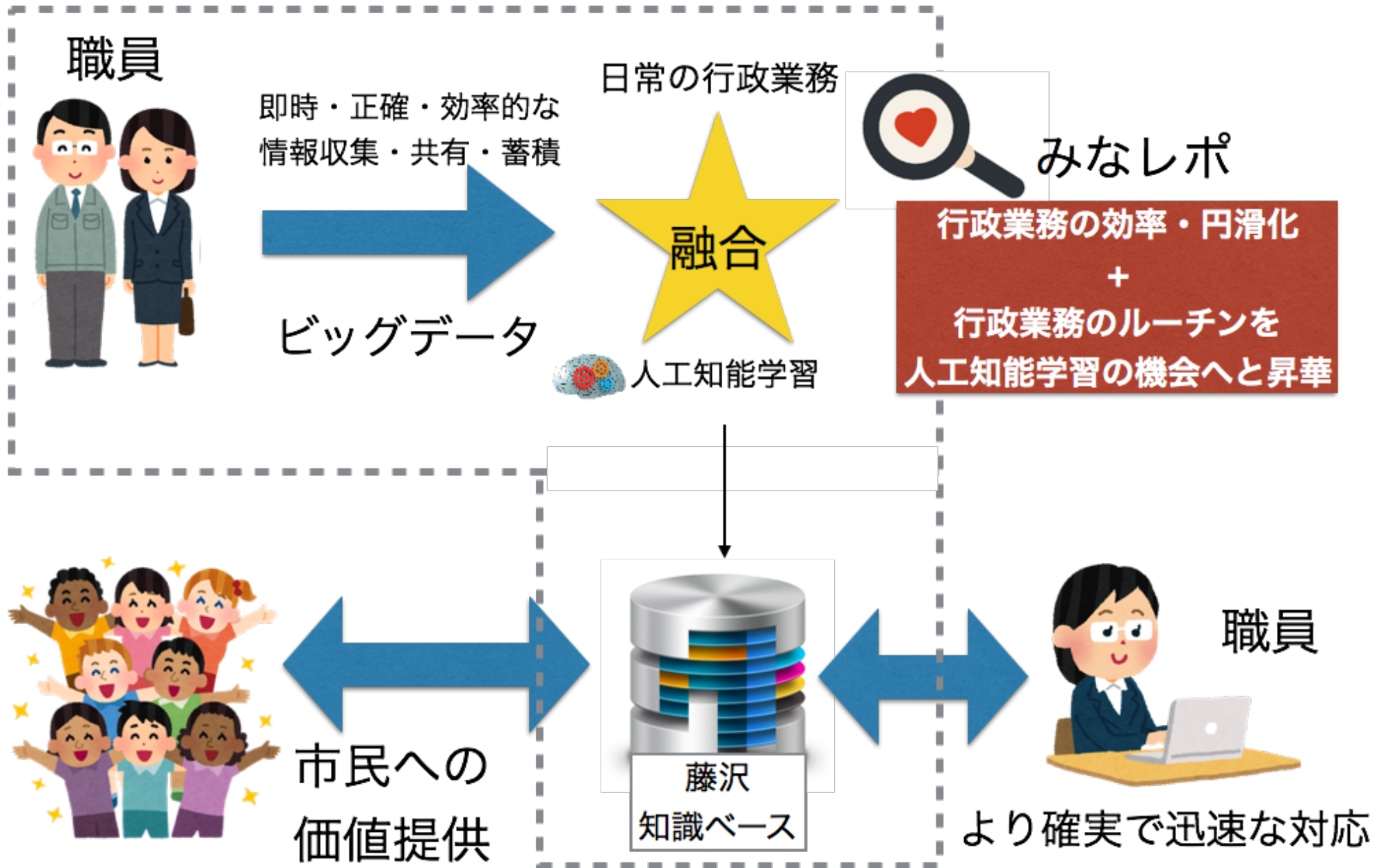
藤沢みなレポ



市職員



藤沢みなしレポの狙い





藤沢みなレポ

“藤沢のプロ”の視点による
情報収集・共有・分析プラットフォーム

業務遂行・市民生活向上および人工知能学習に必要な情報収集・共有・分析を、
「藤沢のプロ＋スマートシティ技術」によって実現する取り組み

最終目標：多様な主体からの要望に迅速に把握・応答可能とする次世代の「マルチパートナーシップによるまちづくり」の推進

そのための第一歩として、環境部の行政業務の効率化に
どれだけ寄与できるか、どのような潜在知識が得られるか、
また副次的に発生する問題はないか、実験と確認・評価を行う

みなレポ 研究開発遂行メンバー

- 慶應義塾大学



徳田英幸



中澤仁



米澤拓郎



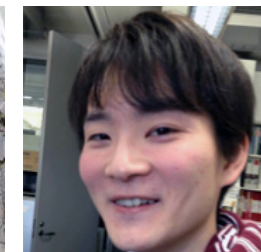
伊藤友隆



坂村美奈



河野慎

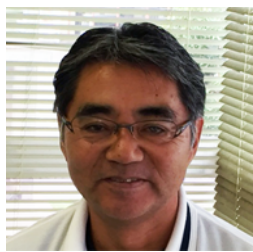


高木慎介

- 藤沢市



金子正彦



渡邊伸二



福田達夫



瀧敦司



横山一久



斎藤賢司



須田貴紀

藤沢みなレポの流れ

落書き発見

職員



業務に必要な
情報

即座に
レポート

docomo 22:43

対応レベル 1:対応必要。通知なし。

コメント (任意)
15m * 2mの落書きがあります

落書き

現在地を再取得

遠藤公園 藤沢市立の沢中学校 二善橋公園

キャンセル 報告する

収集・共有

レポートの種類
写真
位置
コメント
など

表/地図/統計表示・
対応管理など



通知/閲覧

蓄積

実対応

職員



問題分析・
人工知能学習

正確な対応依頼、また機械学習のため、市職員が
レポートの種別区分など正しいラベル付けを行う



集積所把握



回収忘れ



不法投棄



動物の死骸



落書き



道路損傷



残渣



水害被害

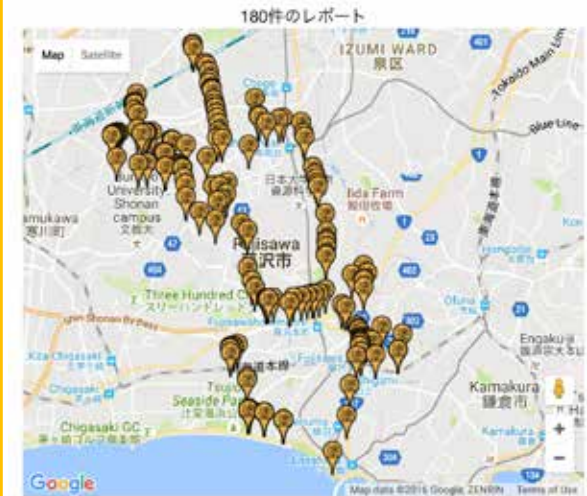
デモンストレーション

レポートの例

- 10月4日試行開始 / 環境部 ~15名
- 1週間強で、250件~の情報が収集・共有



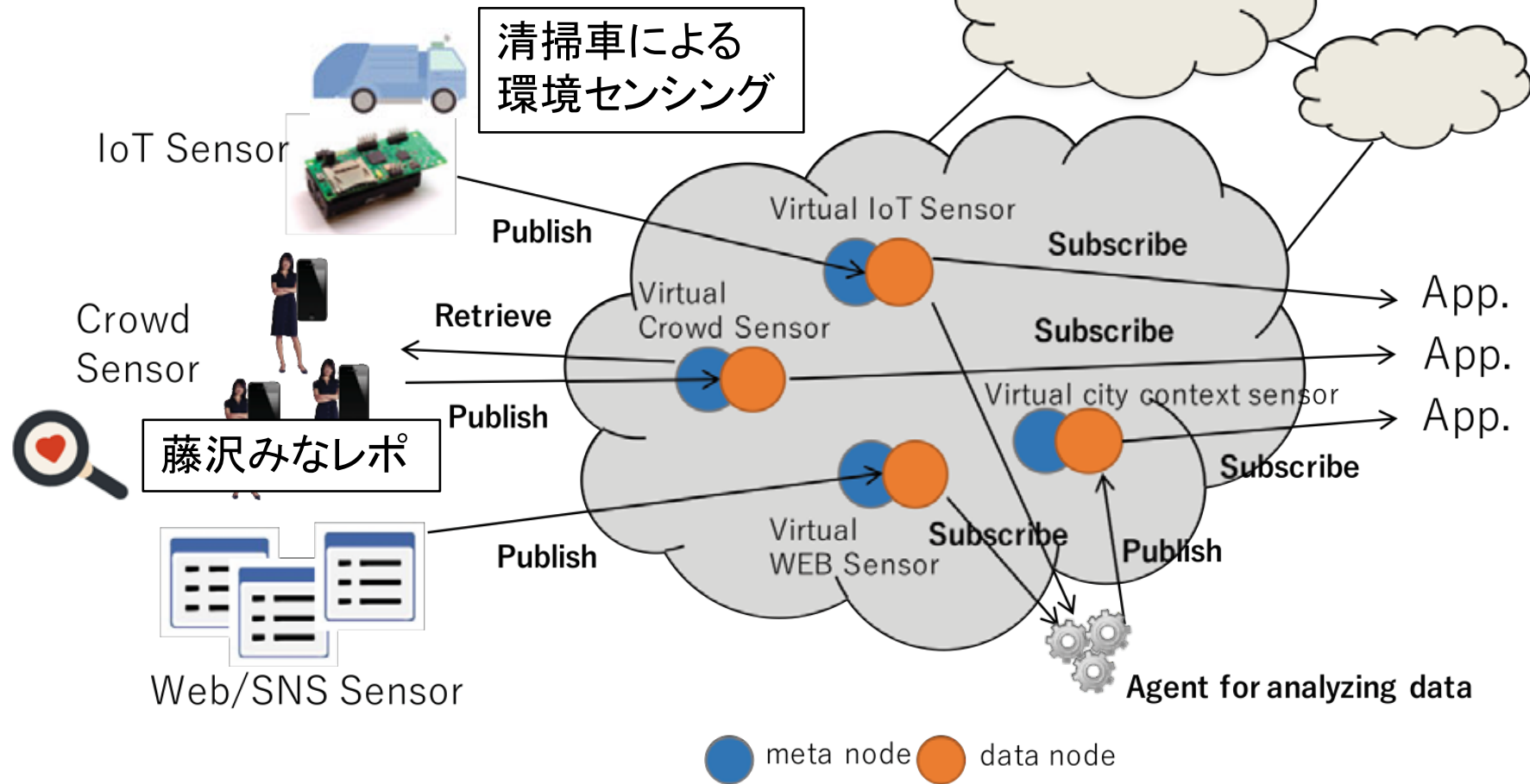
普段の業務遂行に必要な情報のため、自然とデータが収集・共有される



解析対象データ例: 落書きの地域性、同一作者かどうか

- これまで市職員の経験知として潜在していたもの
- これまで誰も気が付かなかった地域特性・パターン → 顕在化, 見える化

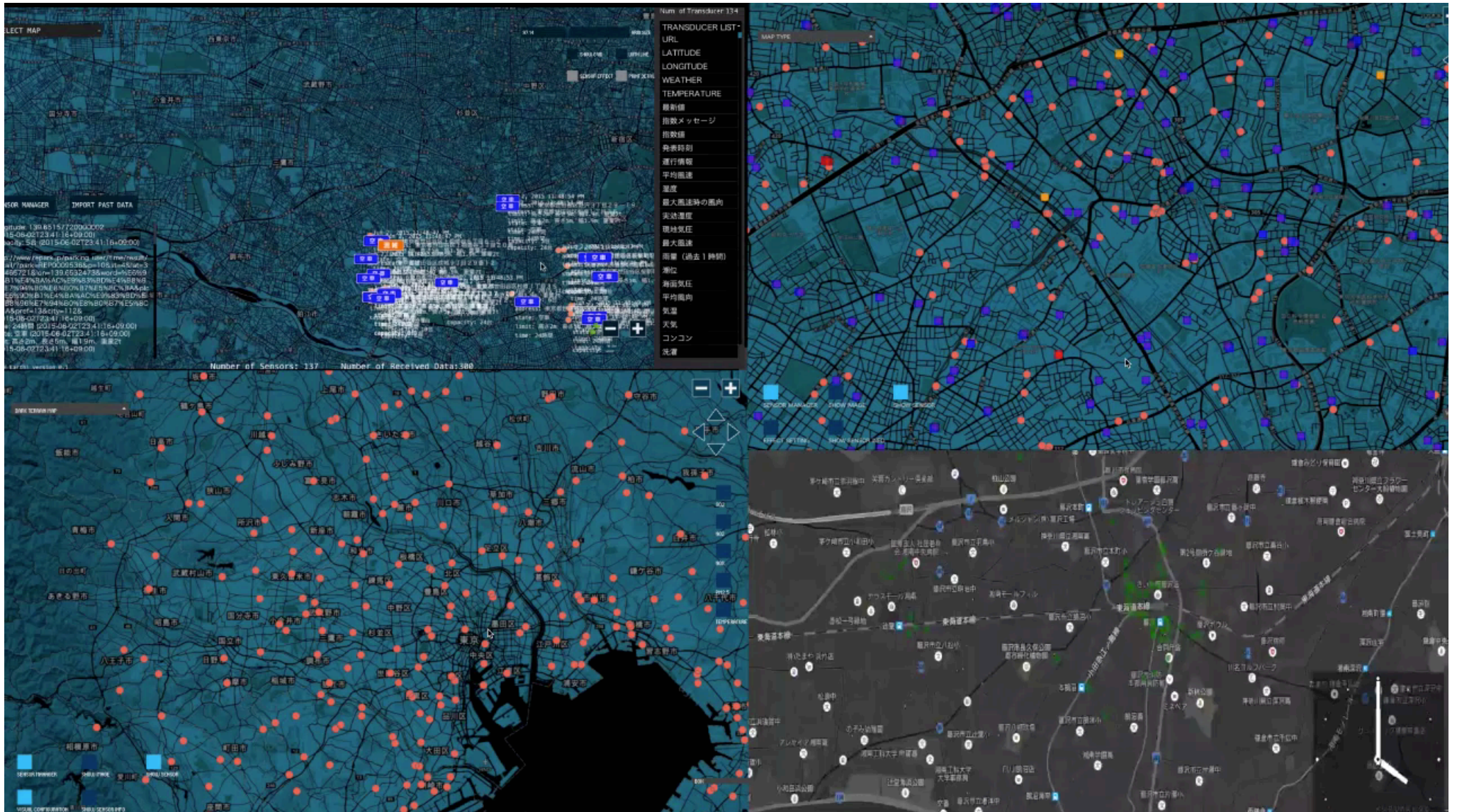
みなレポの基盤として活用される スマートシティ技術



SFCity プラットフォーム

多種多様な都市情報の収集・流通を実現する
仮想センサネットワーク基盤技術

詳細は、<http://www.sfcity.jp> を御覧ください



多種多様な情報のリアルタイムな収集・流通・可視化・分析の実現
 オープンソース・ソフトウェアとして公開、日・欧・北米研究機関での活用が進む

まとめ

藤沢市と慶應義塾大学との継続的な官学連携

スマートシティ技術を活用し、研究技術の発展と行政業務の効率化を目指す「みなレポ」

環境部での実践を通じた都市知識の集約・蓄積と還元

藤沢市「スマートチェック」の取り組み、また他自治体への波及効果を目指す

お問い合わせは sfcity@ht.sfc.keio.ac.jp
(慶應大学SFC 徳田・中澤研究室 SFCityグループ)まで

使用イラスト: かわいいフリー素材集いらすとや

